あびスポッチャー

安平町のスポーツ×カルチャー

町では、国の方針に基づき、部活動を学校から地域に展開することで、子どもから大人までがスポーツや文化を楽しめる環境づくりに取り組んでいます。広報あびら４月号からの「あびスポッチャー」では、部活動の地域展開についてお知らせしてきました。今回は「地域クラブと企業支援」についてご紹介します。

地域クラブと企業支援

■ 安平ギャロップアイスホッケークラブ

安平ギャロップアイスホッケークラブは、もともと小学生以下（U-12）が対象のクラブとして活動しており、近隣地域で中学生が気軽に競技を続けられる環境がほとんどありませんでした。

「中学生になってもアイスホッケーを続けたい」という声を受け、保護者とコーチが中心となって「中高生が趣味としてアイスホッケーを楽しめる場づくり」を進めた結果、９月から中学生のカテゴリー（U-15）が新設され、現在は町内を拠点に活動しています。

練習では、中学生が社会人を相手に練習試合を行うこともあり、世代を超えて楽しくアイスホッケーをしようという雰囲気が特徴的。

「場所がなくてアイスホッケーを続けられなかった子が、毎回休まず通うようになった」という声もあり、周辺地域の子どもたちが競技を続けたいという気持ちを支える場として活動を続けています。

■ 企業支援の仕組み

ユニフォームには
スポンサーのロゴを表示

アイスホッケーの用具費は高額で、防具一式を揃えるのに10万円以上かかることがあるため、昨年度から開始した「スポンサー制度」で活動資金の確保に取り組んでいます。この制度は札幌のクラブの事例を参考に整備し、役員の保護者が実際に地元企業に出向いて説明を行うことで、現在は町内企業５社がスポンサーとして支援。

企業からの支援金は、安全に活動できる環境づくりのため「防具の購入」「用具整備」「応援グッズの制作」「遠征費の補助」などに活用され、支援をお願いするだけではなく、クラブの現状や理念に共感していただけることを大切にしています。

■ 地域みんなでつくる「続けられる場」

安平ギャロップアイスホッケークラブは、子どもの減少により活動を休止していた時期もありましたが、現在は「クラブとして楽しむこと」を一番に掲げ、クラブに関わる方々とのつながりを大切に活動を続けています。企業支援などのさまざまな取り組みは、子どもたちがアイスホッケーを続けられる場をつくるだけではなく、地域の企業、クラブ卒業生、保護者などが自然に関わる新しいクラブの形をつくることにもつながっています。

このような取り組みを通じて、スポーツ・文化活動を推進しています。持続可能なスポーツ・文化環境をつくるため、日々挑戦を続けていますので、引き続きご支援とご協力をよろしくお願いします。

次回は「文化部の地域展開」についてご紹介します。

詳しくは
こちらへ

公式HP　公式LINE

問合せ：安平町教育委員会事務局　学校教育グループ
☎ ㉙ 7036

受託者：NPO法人アビースポーツクラブ